饗庭野基地特別委員会

委員長　大森　六己

◈海上自衛隊舞鶴基地を視察

自衛隊基地を持つ他自治体の状況を調査研修するため、海上自衛隊舞鶴基地のある京都府舞鶴市を訪問し、あわせて護衛艦「みょうこう」の見学を行いました。

舞鶴市には明治34年から日本海側の警備等を担当する舞鶴地方隊などが常駐し、平成13年に舞鶴航空基地が完成しています。また、周辺には自衛隊教育施設があり、市人口の約3・8％の自衛隊員や家族が市内で生活しています。市民と隊員の関係は良好で、旧海軍兵器庫を赤レンガ倉庫群として地域活性化に利用し、市内イベントでは自衛隊の協力を得て開催するなど、自衛隊の存在は市民生活の中に溶け込んでいます。国からの基地関係交付金を市は貴重な財源として重視し活用しているとともに、基地内の機械修理や備品・食材購入等も市内企業で受注されることが多く、市民生活に潤いをもたらしていることから、市民生活にとって基地が非常に友好的な存在であると感じられました。当市においても重要なことは、市民の安全安心な生活を守ることと、市民と自衛隊員の友好的な関係を築くことだと実感しました。

交通対策特別委員会

委員長　里田　治

◈近隣市町の交通対策を研究視察

10月12日、市土木交通部職員の参加を得て、今後の交通体系を研究するため、琵琶湖環状線を利用して、米原市のらくらくタクシー「まいちゃん号」の運営状況とＪＲ木ノ本駅舎等関連整備事業を視察し、最後に西浅井町で、環状線開通後の状況と今後の対策について意見交換を行いました。米原市の「まいちゃん号」は、財政負担は少ないものの、タクシー会社との契約等の問題もあり、即刻、本市での取り組みは難しい面があると感じました。

改修されたＪＲ木ノ本駅舎等は、誰もが利用できる優しい造りで完成した、地域コミュニティの中核となる模範的な施設であり、６つの駅舎を有する本市も、財政的に至難ですが、ものの、県土の均衡ある発展のため今後も隣町と一致協力し、ＪＲ側に粘り強く増便や延伸を要望することで合意しました。市民皆様の格段のご支援をお願いします。

計画的な改修の必要性を痛感しました。意見交換会は、湖西線の防風対策の目処は立った

行財政改革特別委員会

委員長　宮内　英明

◈支所機能および公共施設の見直し案は地域審議会の諮問事項とすべきである

本委員会は去る11月22日に会議を開きました。

最初に平成19年度における経営改革実施計画の進捗状況について、執行部から説明を受けました。

委員からは、主に次のような意見や指摘を行うとともに、市民の視点からの経営改革となるよう求めました。

①公用車の一元管理および遊休土地の売却方法に対する指摘

②指定管理者の指定更新に際しての業務評価に対する意見

③実施計画の取組みとコストに対する指摘と意見

次に「支所機能および公共施設の見直し」を議題とし、見直し案に対する各地域審議会からの主な意見について、執行部に説明を求めました。

委員からの「地域審議会には意見を聞くということだが、なぜ諮問という形をとらないのか」との質疑に対して、執行部から「直接サービスに係る部分については、大きな影響がないよう配慮した方針となっている。また、支所体制の縮小は過去にも行ってきたが、諮問という形をとっていない」との答弁がありました。この答弁に関して「地域審議会の設置目的は、周辺地域の住民の懸念や不安を払拭しようとするものであることから、意見を述べられるとした扱いではなく、市長が地域審議会に諮問し、諮問を受けた地域審議会が答申すべき事項の扱いにすべきである」という意見が大勢を占め、また、この意見は本委員会の総意として、市長に申し出すべきであることを全会一致で確認し、閉会いたしました。

※諮問（しもん）……有識者または一定機関に意見を求めること。

一般質問

上水道・簡易水道会計の統合を問う

里田　治　議員

問 本市は、合併により上水・簡易水道を併せて50施設を有し、別個の会計処理がなされている。財政面や事務処理等の効率化、市民への安定した安心安全な飲料水の供給には、会計統合し運営することが望ましいと思慮する。統合に向けての当局の意向を伺う。

答 上下水道部次長

簡易水道特別会計を上水道企業会計に統合する計画を進めます

簡易水道事業も使用料金をいただいて運営しており、上水道会計同様に地方財政法上も公営企業として位置付けられていますことから、統合計画を進め企業会計へ移行させる必要があると認識しています。そして使用者である皆様方に使用料がどのように使われているのかなどをより明確に公表したいと考えています。

問 市内の林道整備状況と今後の維持管理を問う

本市の森林面積は総面積の72％を占め、永続的な森林保全には林道の役割が重要である。近年では作業以外の人の利用も多く、事故等も懸念される。長い林道の今後の維持管理策を問う。

答 産業循環政策部長

40路線に及ぶ林道の適正な維持管理に努めます

林道は構造上国道や市道のように安全施設や落石防止等の処置が十分ではありませんが、近年の利用者の多様化に伴い、特に利用頻度の高い路線については、危険防止を促す警戒標識等の設置を充実するとともに、落石等危険箇所については計画的に補修を行い、引き続き利用者の安全対策を講じてまいります。

一期目総仕上げとなる20年度の方針について

水田　善昭　議員

問 合併して早や3年が経過しようとしております。合併によるスケールメリットを生かした合理的で効果的な市の運営体制を構築するために、市政の総仕上げである4年目に向けて、公共施設や支所機能の見直しおよび新庁舎の位置づけはどうするのか。また、高島総合病院建設にかかる財源の確保、運営改善策、スタッフを含めた診療科目の整備方針はどう考えているのか。2項目について今後の方針や市民への理解の求め方について伺う。

答 総務部長

市民の声をお聞きし進めます

支所機能等の見直し案は、地域審議会等のご意見を参考に作業を進めます。また新庁舎に関する支所・本庁機能の検討は、少し先になると考えます。病院建設の財源手立ては、長期財政計画では、病院事業債36億円と一般会計からの繰出金41億円を見込んでいます。

答 病院経営管理部長

病院建設の財源確保は合併・病院特例債を活用し、その後の経費は、入院患者の増加等により確保ができる見込です。病床数は、入院期間が短縮される傾向から削減を計画し、また、診療科目は、慎重に検討いたします。

問 琵琶湖の保全策について

琵琶湖上の市町境界の設定に伴い、琵琶湖の管理や保全対策について見直しがなされておりますが、運用の中止が見込まれている調査研究事業について市の考えを伺う。

答 総務部長

水質保全や環境美化などに活用します

琵琶湖に面する14市町の合意により、交付税増額分の半分を滋賀県市町村振興協会に拠出し、琵琶湖の水質保全のために活用します。この拠出金は市町共有の財源であり、従来、県で実施してきた事業の肩代わりをすることは、本来の姿ではないと理解しています。運用の中止が見込まれる調査研究については、県に対して強く継続を要望いたします。